

石原の 直播水稻用除草剤



1 はじめに

近年、直播水稻栽培は省力化・省コストの点から、非常に注目度が高まっています。

石原産業(株)グループでは、直播水稻栽培を営む農家の皆様にとって、より効果が高く、使用者の安全、農作業の省力化につながる製品の提供を目指し、開発に取り組んでおります。

本資料では、現在までに石原産業(株)グループが開発いたしました、直播水稻栽培に使用して頂ける製品を各剤の特長とともに取りまとめましたので、皆様の薬剤選定・ご使用の際の参考になれば幸いに存じます。

平成26年3月

※本技術資料の栽培場面の写真は井関農機(株)様、(株)クボタ様、ヤマハ発動機(株)様にご提供いただきました。

目 次

1 はじめに	1
2 直播栽培の概要	2
3 直播栽培について	3
4 製品ラインナップ	6
ブレキープ 1 キロ粒剤／フロアブル	7
センイチ MX1 キロ粒剤／フルパワーMX1 キロ粒剤	9
フルイニング 1 キロ粒剤	10
フルチャージ 1 キロ粒剤／ジャンボ	11
スケダチ 1 キロ粒剤／ヒエクッパ 1 キロ粒剤	12
アンカーマンDF	13
ハードパンチDF	14

2 直播栽培の概要

◆ 直播栽培の現状

直播栽培の作付け面積は、高度経済成長や農業基本法の制定に伴い、昭和49年には乾田直播栽培を中心に約55,000ha(水稲作付け面積の約2%)まで普及しましたが、その後、田植機や育苗設備の普及等に伴い減少し、平成5年には約7,200ha(水稲作付け面積の約0.3%)にまで減少しました。しかし近年、農業就業者の減少や高齢化による栽培技術の省力化・低コスト化へのニーズの高まりから増加傾向にあり、平成24年には22,642ha(水稲作付け面積の約1.4%)まで増加しています。

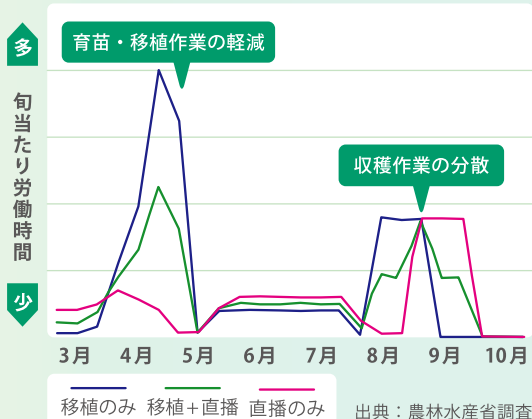
● 直播栽培のメリット

- ・育苗や移植作業の省略による春作業の軽減が可能
- ・育苗箱や被覆用ビニールなどの農業用資材の削減が可能
- ・生育ステージのズレによる収穫作業等の秋作業の分散化が可能

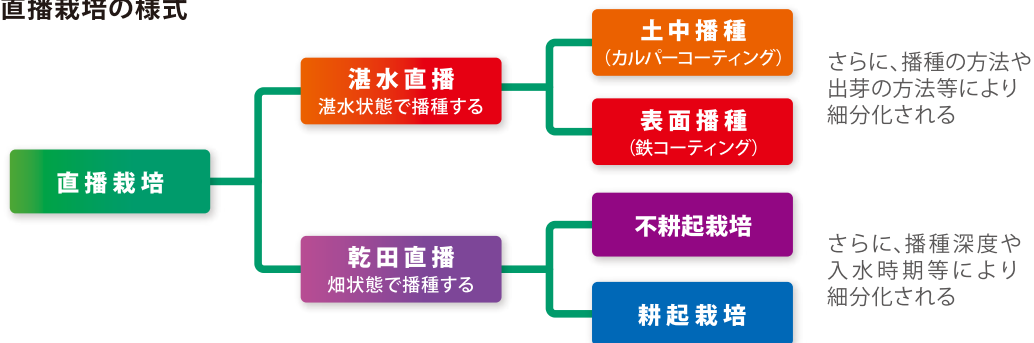
● 直播栽培の課題

- ・出芽・苗立ちが不安定になりやすい
- ・鳥害を受けやすい
- ・雑草害を受けやすい
- ・収量・品質が安定しない

直播栽培による労働時間の軽減と収穫作業の分散



◆ 直播栽培の様式



◆ 栽培様式別のメリット・デメリット

	湛水直播	乾田直播
メリット	・播種作業に天候の影響を受けにくい ・土壌や圃場の乾湿といった圃場条件に比較的左右されにくい ・雑草防除が比較的容易	・播種を早期に実施できる(温暖地では2、3月播種も可能) ・播種機の畑作物(麦等)との汎用が可能
デメリット	・種子粉衣作業が必要 ・条播、点播では専用の機械が必要 ・春作業(代かきや入水)で移植栽培と作業の競合が生じる可能性あり	・入排水の管理が容易な圃場を選定しなければならない ・播種時に降雨が重なると、播種作業が停滞する

◆ 栽培様式の整理

直播様式	湛水直播		乾田直播
種子コーティング方法	酸素発生剤	鉄コーティング	
資材	酸素発生剤	鉄粉	不要
種子保存	2～3日間	数ヶ月以上	—
育苗	不要	不要	不要
耕起・代かき	必要	必要	不要(不耕起の場合)
播種	正確な土中播種	表面播種	土中播種
苗立ち	◎	○	△～○

3 直播栽培について

直播栽培には「湛水直播栽培」と「乾田直播栽培」の2種類があり、さらに播種方法等によっても分類されます。

ここでは、代表的な4種類の直播栽培方法についてご説明します。

◆ 湛水直播栽培とは

水田状態で播種する方法です。乾田直播と比較して「播種作業に天候の影響を受けにくい」「土壌条件による影響を受けにくい」などのメリットがあります。現在実施されている湛水直播栽培は、土中播種(カルパーコーティング)と表面播種(鉄コーティング)に分けられます。

● 土中播種(カルパーコーティング)

酸素発生剤(カルパー)でコーティングした催芽種子を10～15mmの深さに播種します。土壌還元の影響を避けるため、落水出芽させます。

除草剤散布の基本は以下のとおりです。

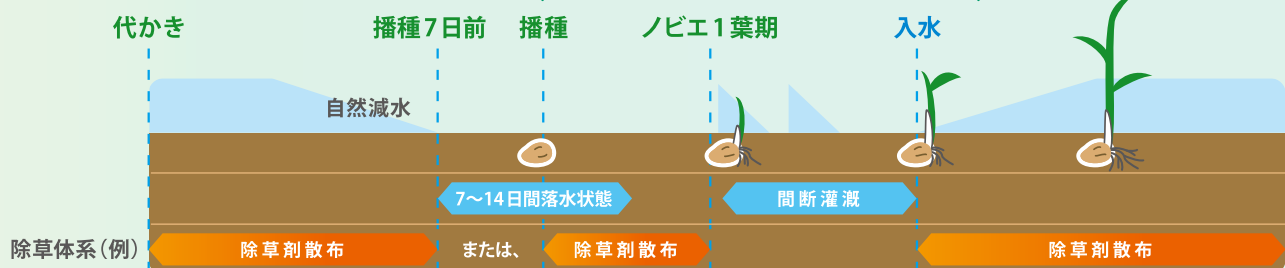
- (1) 水稻出芽後 初中期一発除草剤の1回
- (2) 播種時もしくは播種前後 初期除草剤 + 再入水後 一発除草剤の2回



カルパー
コーティング
種子



水管理パターン



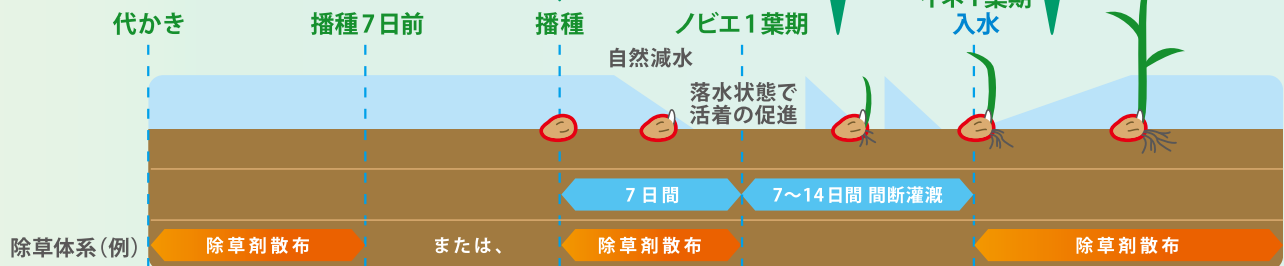
● 表面播種 (鉄コーティング)

鉄粉でコーティングした乾燥種子を湛水状態のまま、または落水して土壌表面に播種します。
コーティング種子は重いため水に浮かず、硬いため鳥害を防ぐことができます。
除草剤散布の基本は以下のとおりです。

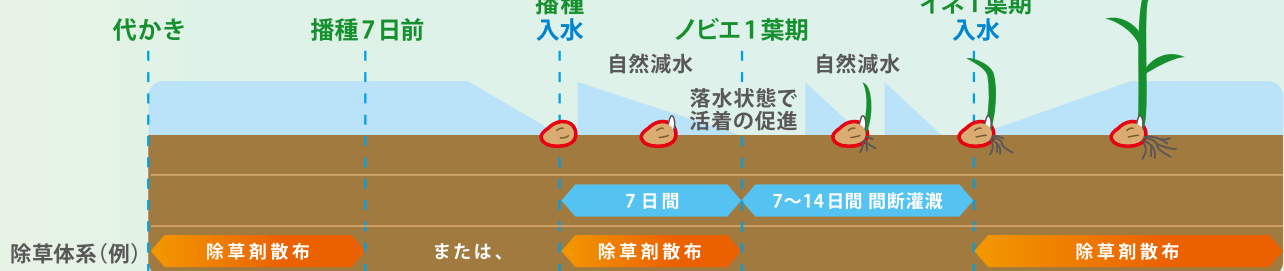
- (1) 入水後播種前後 初期除草剤 + 再入水後 一発除草剤の2回
- (2) 再入水後 一発除草剤の1回



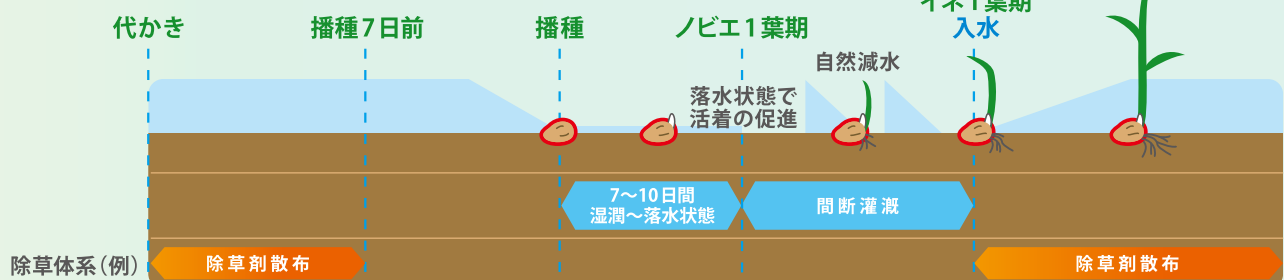
水管理パターン ①



水管理パターン ②



水管理パターン ③



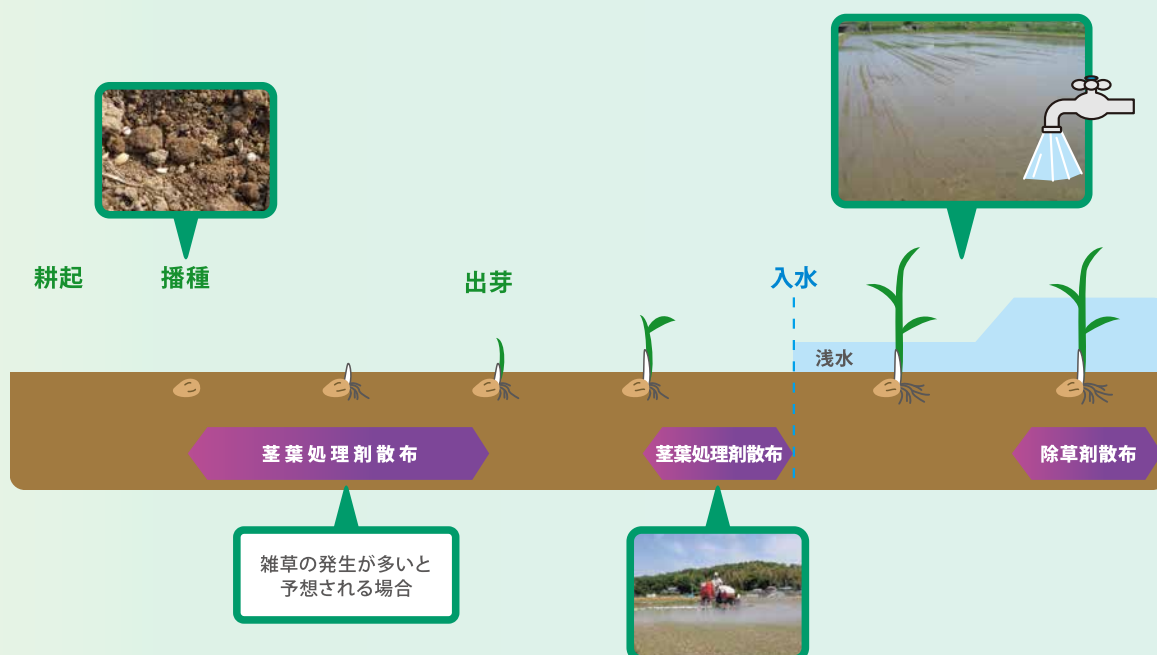
◆ 乾田直播栽培とは

畑状態の圃場に播種し、苗がある程度まで生長してから入水する栽培方法です。入水後は従来の移植栽培と同じ管理をします。代かき作業が不要で、乾田状態で播種を行うため効率よく作業を行うことができます。温暖地であれば、播種を早期（2、3月）にも実施可能で、春作業の軽減ができます。現在実施されている乾田直播栽培には、耕起栽培と不耕起栽培があります。

● 耕起栽培

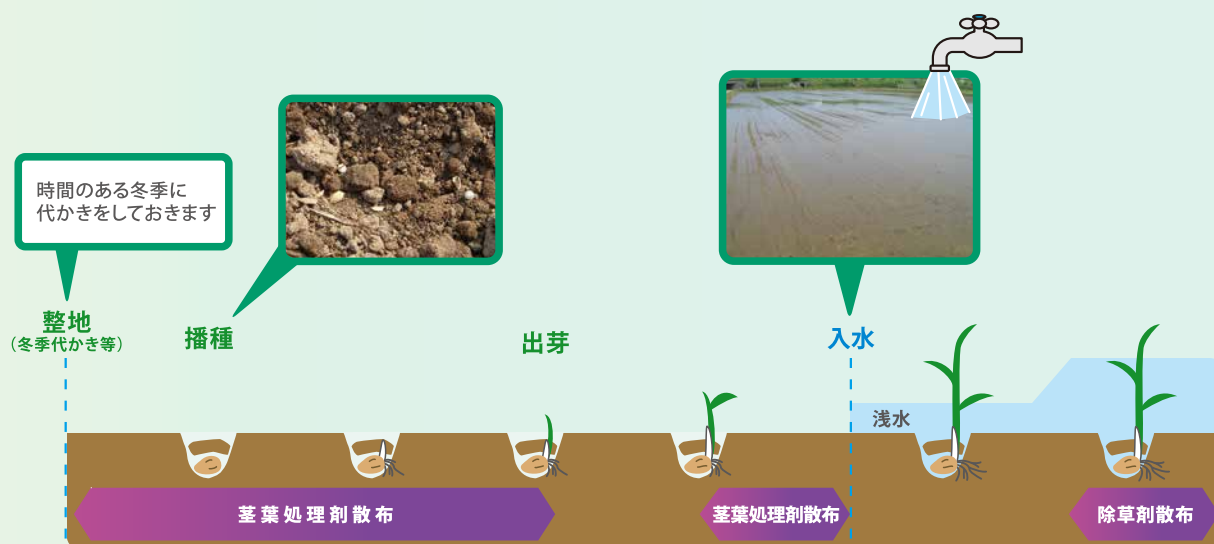
耕起した圃場に種籾（たねもみ）を播種します。

除草剤散布は入水前の茎葉処理剤と、入水後の一発処理剤の2回処理体系が基本ですが、雑草の発生が多い場合は、播種後の土壌処理剤、または入水前の茎葉処理剤を更に1回追加します。



● 不耕起栽培（別名：不耕起V溝直播、冬季代かき直播）

トラクターの後部に専用機械を取付け、乾いた田面にV字型の溝を切り、その中に種籾と肥料を一緒に播きます。除草剤散布は①整地～出芽前②入水前③入水後の3回が基本です。



4 製品ラインナップ

*ご使用の前には、必ず各製品ラベルを良くお読みになり、使用方法、使用上の注意事項を守って適正に使用してください。

製品名	初期 剤	一 発 剤	中 期 剤	後 期 剤	田 植 同 時 処 理 可 能	乾 田 直 播 で 使 用 可 能	無 人 ヘ リ	代かき	は種	イネ 1 葉 期	イネ 2 葉 期	イネ 3 葉 期	イネ 5 葉 期	最高 分けつ 期	収穫	掲載ページ	
プレキープ® 1キロ粒剤 農林水産省登録 第22570号 ピラゾキシフェン：10.0% ベンゾビシクロン：2.0% 規格：1kg×12袋	○				○		○	代かき後 ～ は種7日前	は種時・ は種直後～ ノビエ1葉期 収穫90日前まで	※播種前7日間は薬剤の使用禁止							7 8
プレキープ® フロアブル 農林水産省登録 第22872号 ピラゾキシフェン：20.0% ベンゾビシクロン：4.0% 規格：500ml×20本	○				○		○	代かき後 ～ は種7日前	は種時・ は種直後～ ノビエ1葉期 収穫90日前まで	※播種前7日間は薬剤の使用禁止							
センイチMX 1キロ粒剤 フルバク®MX 1キロ粒剤 農林水産省登録 第23191号 農林水産省登録 第23425号 ピラクロニル：2.0%、フルセトスルフロン：0.20% メソトリオン：0.90% 規格：1kg×12袋		○					○			イネ1葉期～ノビエ3葉期 収穫90日前まで							9
フルイニング® 1キロ粒剤 農林水産省登録 第22621号 カフェンストロール：2.1% カルフェントラゾンエチル：0.90% フルセトスルフロン：0.22% ベンゾビシクロン：2.0% 規格：1kg×12袋		○					○			イネ1葉期～ノビエ4葉期 収穫60日前まで							10
フルチャップ® 1キロ粒剤 農林水産省登録 第22394号 フルセトスルフロン：0.22% カルフェントラゾンエチル：0.90% 規格：1kg×12袋		○					○			イネ1葉期～ノビエ4葉期 収穫45日前まで							11
フルチャップ® ジャンボ 農林水産省登録 第22396号 フルセトスルフロン：0.44% カルフェントラゾンエチル：1.80% 規格：500g×10袋		○					○			イネ1葉期～ノビエ4葉期 収穫45日前まで							11
スーパースター 1キロ粒剤 ヒエックアップ® 1キロ粒剤 農林水産省登録 第22380号 農林水産省登録 第22381号 フルセトスルフロン：0.22% 規格：1kg×12袋			○				○	1kg/10a処理	イネ1葉期～ノビエ4葉期 収穫45日前まで	イネ3葉期～ノビエ5葉期 収穫45日前まで							12
アンカマン® DF 農林水産省登録 第22556号 フルセトスルフロン：0.30% ベンタゾン：20.0% 規格：500g×10袋				○			○		希釈して 散布する場合	イネ5葉期～ノビエ5葉期 (稲幼穂形成期前まで) 収穫60日前まで							13
									顆粒のまま 散布する場合	イネ5葉期 ～ノビエ4葉期 収穫60日前まで							
乾田直播栽培専用剤 ハートバスター® DF 農林水産省登録 第22620号 カルフェントラゾンエチル：20.0% フルセトスルフロン：10.0% 規格：30g×10袋							○		入水前	イネ2葉期～ノビエ5葉期 (入水前) 収穫60日前まで							14

製品紹介・使用方法

湛水
処理

田植
同時

無人
ヘリ

プレキープ[®]1キロ粒剤

(ピラゾキシフェン10.0%、ベンゾビシクロン2.0%)

プレキープ[®]フロアブル

(ピラゾキシフェン20.0%、ベンゾビシクロン4.0%)



プレキープは播種同時散布および無人ヘリ散布も可能です。

① 特長

① 湛水直播栽培の播種前後～ノビエ1葉期まで使用可能

イネに対する安全性が高く、播種前後からの使用が可能です。
また、播種同時でも使用できます。

② 多年生雑草（ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ）にも有効

ピラゾキシフェン、ベンゾビシクロンの両成分の働きにより、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリといった多年生雑草にも高い効果が期待できます。

③ SU抵抗性雑草にすぐれた効果を発揮

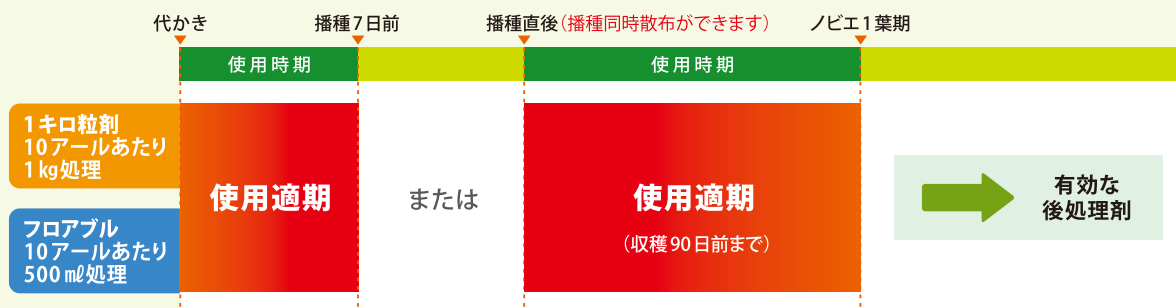
非SU系の成分からなるため、SU抵抗性のコナギ、アゼナ類、ホタルイ等の雑草にも高い効果が期待できます。

殺草スペクトラム

雑草名	ノビエ	コナギ	その他 一年生雑草	マツバイ	ホタルイ	ヘラ オモダカ	ミズ ガヤツリ	ウリカワ	ヒルムシロ
効果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
有効葉令	1.0	—	—	—	発生始	発生前	発生始	発生始	発生前

② 上手な使い方

プレキープ1キロ粒剤／フロアブルは、一発処理剤と組み合わせて使用することにより、初期剤として、代かき後～播種7日前および播種時～ノビエ1葉期までに使用できます。



※地域、作型、気象条件等により、雑草の発生状況は異なりますので、使用時期を失ないように散布してください。

③ 適用雑草と使用方法

ブレキープ[®]1キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当たり 使用量	本剤の 使用回数	使用 方 法	適用地帯
直播 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	は種時	壤土～埴土	1kg	1回	は種同時 散布機で施用	全域 (北海道、 九州を除く)
		湛水直播の代かき後～は種7日前 または は種直後～ノビエ1葉期 但し収穫90日前まで				湛水散布 または 無人ヘリコプターに よる散布	

各有効成分を含む農薬の総使用回数：ピラゾキシフェン……2回以内、ベンゾビスクロン……2回以内

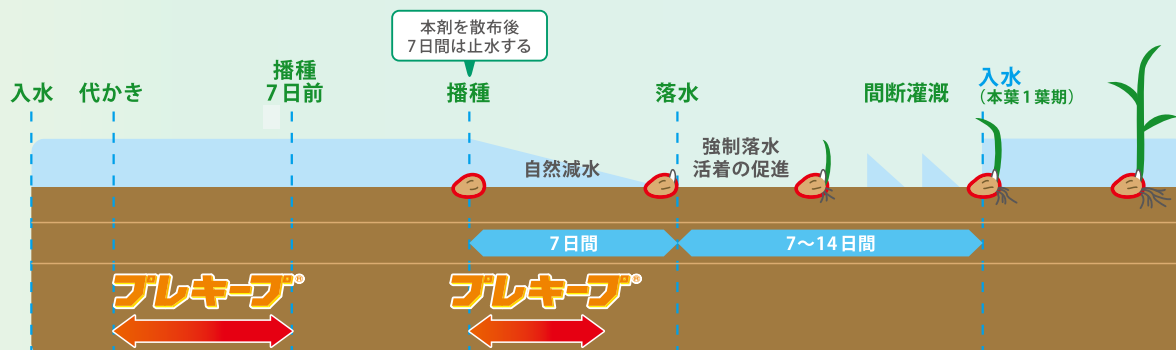
ブレキープ[®]フロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当たり 使用量	本剤の 使用回数	使用 方 法	適用地帯
直播 水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	は種時	壤土～埴土	300ml	1回	は種同時 散布機で施用	全域 (北海道、 九州を除く)
			砂壤土～埴土	500ml			
		湛水直播の代かき後～は種7日前 または は種直後～ノビエ1葉期 但し収穫90日前まで	壤土～埴土	300ml		原液湛水散布	
			砂壤土～埴土	500ml		無人ヘリコプターに よる滴下	

各有効成分を含む農薬の総使用回数：ピラゾキシフェン……2回以内、ベンゾビスクロン……2回以内

● 表面播種(鉄コーティング)での上手な使い方

湛水状態のまま播種するので、播種前後および播種同時の散布が効果的です。



播種直後に散布した場合は、散布後7日間は強制落水しないでください。

※本剤の使用は「収穫の90日前まで」、使用回数は「1回」です。

鉄コーティング湛水直播マニュアル2010(近中四国農研)より引用

センアイフ[®]MX

1キロ粒剤



フルパグー[®]MX

1キロ粒剤



ピラクロニル2.0%、フルセトスルフロン0.20%、メソトリオン0.90%

① 特長

① 3葉期までのノビエにすぐれた効果

フルセトスルフロンの作用により、ノビエ3葉期まで高い除草効果を示します。

② 高葉令のSU抵抗性雑草を含む水田雑草に高い効果

ピラクロニルとメソトリオンの作用性の異なる2成分の作用により、SU抵抗性を含むホタルイ、コナギ、アゼナ類にも安定した除草効果を示します。

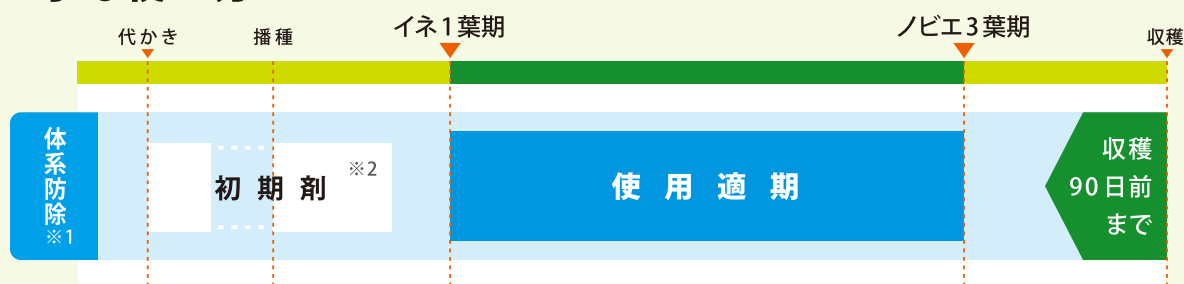
③ さまざまな栽培形態に使用可能

湛水直播栽培の土中播種(カルパーコーティング)、表面播種(鉄コーティング)のいずれにも使用が可能です。

各雑草の散布適期

雑草名	散布適期
ホタルイ	3葉期まで
ミズガヤツリ	3葉期まで
ウリカワ	発生始期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前～再生始期まで

② 上手な使い方



※1 地域、作型、気象条件、前処理剤の使用時期や残効期間により、雑草の発生状況は異なります。
※2 播種前7日間は薬剤の使用禁止

③ 適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し収穫90日前まで	砂壤土～埴土	1kg	1回	湛水 散布	全域

各有効成分を含む農薬の総使用回数：ピラクロニル……2回以内、フルセトスルフロン……2回以内、メソトリオン……2回以内

フルイニング®

1キロ粒剤

カフェンストロール2.1%、カルフェントラゾンエチル0.90%、フルセトスルフロン0.22%、ベンゾビシクロン2.0%



① 特長

① 4葉期までのノビエにすぐれた効果

カフェンストロールとフルセトスルフロンのW効果でノビエ4葉期まで高い除草効果を示します。

② SU抵抗性雑草にも有効

作用性の異なる3成分(カフェンストロール・カルフェントラゾンエチル・ベンゾビシクロン)の働きで、SU抵抗性の一年生雑草やホタルイに対しても安定した除草効果を示します。

③ すぐれた残効性

安定した土壌処理効果により、ノビエをはじめとする水田一年生雑草やホタルイ等の後発生を長期間抑制します。

④ ゆとりある散布適期

イネ1葉期～ノビエ4葉期まで(収穫60日前まで)

一発剤として、また初期剤としての体系防除剤として雑草の発生に合わせてイネ1葉期からノビエ4葉期までの幅広い時期に使用できます。

各雑草の散布適期

雑草名	散布適期
ホタルイ	3葉期まで
ミズガヤツリ	2葉期まで
ウリカワ	3葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前～再生始期まで

② 上手な使い方



※1 地域、作型、気象条件、前処理剤の使用時期や残効期間により、雑草の発生状況は異なります。

※2 播種前7日間は薬剤の使用禁止

③ 適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ノビエ4葉期 但し収穫60日前まで	壤土～埴土	1kg	1回	湛水散布	全域

各有効成分を含む農薬の総使用回数：カフェンストロール……1回、カルフェントラゾンエチル……2回以内、フルセトスルフロン……2回以内、ベンゾビシクロン……2回以内

フルチャージ[®] 1キロ粒剤

フルチャージ[®] ジャンボ

フルセトスルフロン0.22%、カルフェントラゾンエチル0.9%

フルセトスルフロン0.44%、カルフェントラゾンエチル1.8%



① 特長

① 4葉期までのノビエにすぐれた効果

一発剤、または体系防除の後処理剤として、ノビエ4葉期まで高い除草効果を示します。

② SU抵抗性一年生雑草にも有効

カルフェントラゾンエチルの作用により、コナギ・アゼナ等のSU抵抗性を含む一年生広葉雑草をしっかり防除します。

③ ゆとりある散布適期

イネ1葉期～ノビエ4葉期(収穫45日前まで)

一発剤として、また初期剤との体系防除剤として、雑草の発生に合わせてイネ1葉期からノビエ4葉期までの幅広い時期に使用でき、圃場に応じた雑草防除を可能にします。

② 上手な使い方



※1 地域、作型、気象条件、前処理剤の使用時期や残効期間により、雑草の発生状況は異なります。

※2 播種前7日間は薬剤の使用禁止

③ 適用雑草と使用方法

フルチャージ[®] 1キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ セリ	稲1葉期～ノビエ4葉期 但し収穫45日前まで	砂壤土 ～埴土	1kg	1回	湛水散布	全域 (北海道を除く)

各有効成分を含む農薬の総使用回数：カルフェントラゾンエチル……2回以内、フルセトスルフロン……2回以内

フルチャージ[®] ジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ノビエ4葉期 但し収穫45日前まで	壤土 ～埴土	小包装 (パック) 10個 (500g)	1回	水田に 小包装 (パック) のまま 投げ入れる	全域

各有効成分を含む農薬の総使用回数：カルフェントラゾンエチル……2回以内、フルセトスルフロン……2回以内



フルセトスルフロン 0.22%



① 特長

① 高葉令のノビエにすぐれた効果

ノビエに対し10アール当り1kg処理で4葉期まで、1.5kg処理で5葉期まで高い除草効果を示します。

② ゆとりある散布適期

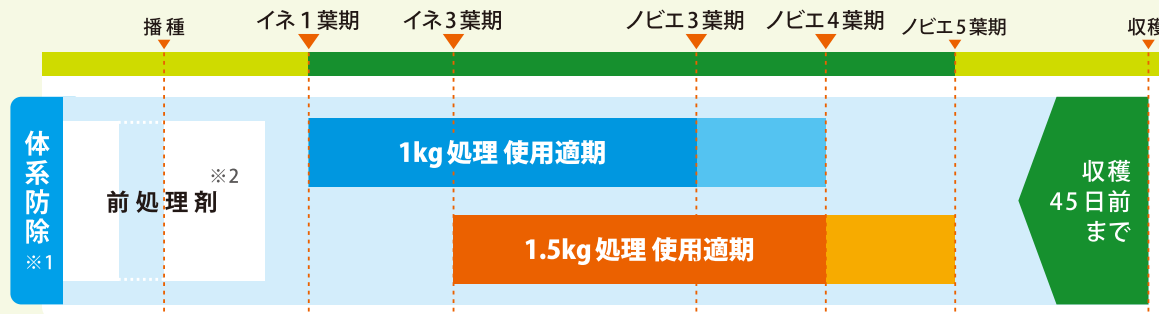
■10アール当り

1kg処理 イネ1葉期～ノビエ4葉期(収穫45日前まで)

1.5kg処理 イネ3葉期～ノビエ5葉期(収穫45日前まで)

中後期剤として、初期剤との体系防除により1kg処理でノビエ4葉期、1.5kg処理でノビエ5葉期まで、雑草の発生に合わせて幅広い時期に使用でき、圃場に応じた体系防除を可能にします。

② 上手な使い方



※1 地域、作型、気象条件、前処理剤の使用時期や残効期間により、雑草の発生状況は異なります。

※2 播種前7日間は薬剤の使用禁止

③ 適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
直播水稲	ノビエ ホタルイ ウリカワ	稲1葉期～ノビエ4葉期 但し収穫45日前まで	砂壤土～埴土	1kg	2回以内	湛水散布	全域
		稲3葉期～ノビエ5葉期 但し収穫45日前まで		1.5kg			

フルセトスルフロンを含む農薬の総使用回数……2回以内

アノカマ[®] DF

フルセトスルフロン 0.30%、ベンタゾン 20.0%



① 特長

① 5葉期までのノビエにすぐれた効果

雑草に直接散布するため、ノビエ5葉期まですぐれた除草効果を示します。

② SU抵抗性雑草を含む水田雑草に威力

前処理剤の残草や後発生の防除など、あらゆる水田雑草に有効です。
SU抵抗性のコナギ、アゼナ類、ホタルイなどに対しても高い除草効果を示します。

③ ゆとりある散布適期

・希釈して散布する場合：イネ5葉期～ノビエ5葉期（稲幼穂形成期前）（収穫60日前まで）

・顆粒のまま散布する場合：イネ5葉期～ノビエ4葉期（収穫60日前まで）

雑草の発生に合わせて幅広い時期に使用できます。

② 上手な使い方

● 希釈して散布する場合



● 顆粒のまま散布する場合



※1 地域、作型、気象条件、前処理剤の使用時期や残効期間により、雑草の発生状況は異なります。
※2 播種前7日間は薬剤の使用禁止

● 散布液調製時の注意



- ① 本剤を希釈水に加えた後は、しばらく放置した後、十分かき混ぜてから散布してください。
- ② 一次希釈する場合は、少量の水では均一に分散され難いので、5%以下の濃度（製品500gに対し、水10ℓ以上）となるように注意してください。
- ③ 展着剤は不要です。
- ④ 散布液は使用当日に調製してください。

③ 適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
				薬量	希釈水量			
直播水稲	ノビエ ホタルイ ミズガヤツリ ヒルムシロ	稲5葉期～ノビエ5葉期 （稲幼穂形成期前まで） 但し収穫60日前まで	砂壤土 ～ 埴土	1kg	100ℓ	2回以内	落水散布又は、 ごく浅く湛水して 散布	全域 （北海道を除く）
	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲5葉期～ノビエ4葉期 但し収穫60日前まで			—		ごく浅く湛水して 顆粒のまま散布	

各有効成分を含む農薬の総使用回数：フルセトスルフロン……2回以内、ベンタゾン……2回以内

ハードパンチ[®] DF

カルフェントラゾンエチル20.0%、フルセトスルフロン10.0%



① 特長

① 乾田直播栽培の専用剤

乾田直播栽培における乾田期の雑草防除のために開発された、茎葉処理タイプの新しい除草剤です。
イネ2葉期から使用できます。

② 高葉令のノビエにすぐれた効果

ノビエ5葉期まで防除可能であり、イネに比べてノビエの葉令進展が早い圃場でも、ゆとりある散布期間を確保できる除草剤です。

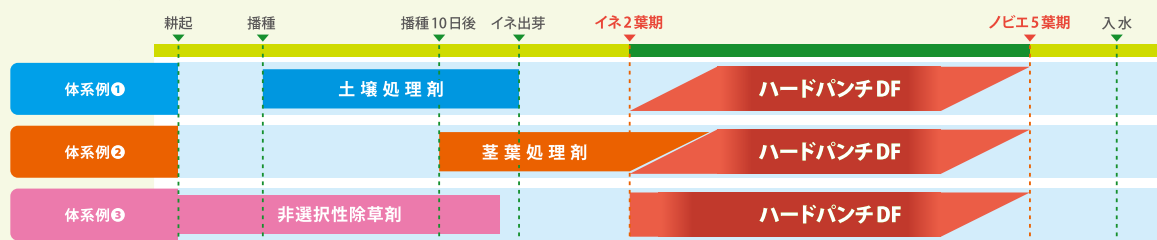
③ 広葉雑草にも有効

カルフェントラゾンエチルの作用により、クサネム、タデ類、アメリカセンダングサなど、乾田直播栽培で問題となっている広葉雑草に高い除草効果を示します。また、効果発現が非常に早く、処理後数日で雑草は枯死します。

② 上手な使い方

ハードパンチDFは、乾田直播栽培の入水前処理剤として、イネ2葉期からノビエ5葉期まで使用できます。

●一般的な場合



●効果

タデ類



8日後



15日後



クサネム



●薬害



黒褐色斑点



褐変症状・流れ葉

薬害は水稻の生育が軟弱な場合や処理後に著しい高温が続いた場合などに、葉鞘褐変や流れ葉などの薬害症状が見られることがあります。その程度は軽微で速やかに回復し、収量等への影響はほとんどありません。

③ 適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
				薬量	希釈水量			
直播 水稻	ノビエ タデ類 クサネム アメリカセンダングサ	乾田直播の 稲2葉期～ ノビエ5葉期(入水前) 但し収穫60日前まで	砂壤土 ～ 埴土	30g	100ℓ	2回以内	乾田状態で 雑草茎葉散布	全域 (北海道、九州を除く)

各有効成分を含む農薬の総使用回数：カルフェントラゾンエチル……2回以内、フルセトスルフロン……2回以内



ISK 石原産業株式会社

本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号
四日市工場 〒510-0842 三重県四日市市石原町1番地
中央研究所 〒525-0025 滋賀県草津市西渋川2丁目3番1号

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本社	〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号	TEL (03) 5844-6320 FAX (03) 3812-6548
札幌支店	〒060-0003 札幌市中央区北三条西1丁目1番地(サンメモリア)	TEL (011) 261-0211 FAX (011) 271-3376
仙台支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目1番41号(カメイ仙台中央ビル)	TEL (022) 227-6813 FAX (022) 264-4585
東京支店	〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号	TEL (03) 5844-6350 FAX (03) 3812-6589
大阪支店	〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号(新石原ビル)	TEL (06) 6444-1454 FAX (06) 6441-0765
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目10番11号(イトーピア天神ビル)	TEL (092) 751-0432 FAX (092) 761-5924

ラベルを守って正しく使いましょう!
適用作物・薬量(希釈倍数)・
使用時期・使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

本内容は平成26年3月末の知見に基づいています。

- ラベルをよく読んでください。
- 小児の手の届くところには置かないでください。

- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。



石原テレホン相談室 0120-1480-57

ホームページアドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>